Fukui University of Technology

FUKUI PHOENIX PROJECT NEWS No.1

『宇宙』事業推進のために地域と協働する
“ふくい PHOENIX” プロジェクト
文部科学省　平成 28 年度
私立大学研究ブランディング事業

福井工業大学“ふくい PHOENIX プロジェクト”の活動が英国外務省広報誌「People & Places / Issue 16・June 2017」に紹介されました。

【記事の内容】

『宇宙』による地域のイノベーション

～日本の“ある田舎”の星空が科学、テクノロジー、ツーリズムを活性化する～

駐日英国大使館科学技術部エネルギー & 先端技術担当：大野真美子

私は学生の頃から宇宙と星に魅了され、多くのプラネタリウムや天文台を巡りました。現在、英国大使館での仕事として、いくつかの課題に取り組んでおり、星空を次世代のために残すこともその一つです。

福井県池田町は、素晴らしい料理と伝統工芸に彩られた日本の歴史ある人口 2800 人の地方都市で、キャンプ、魚釣り、ゴルフなどを楽しむことができる自然豊かな町として有名です。このような池田町に訪れる人は美しい天の川や満天の空などすばらしい星空に驚かされます。池田町、そしてさらに山間部である勝山市や大野市の奥越地域は星空のすばらしい地域であり、大野市の星空は環境省からこれまでに 2 回、日本で最も美しいと認定されたことがあります。しかしながら、この地域の人々にとっては、美しい星空そして夜空の暗さは当たり前になっていて、そのことに気づいていないのです。今、このような福井県で星空観光と科学技術を結びつけるプロジェクト「ふくい PHOENIX プロジェクト」が推進されています。

私は今年 4 月に福井を訪れ、プロジェクトを推進する福井工業大学で、NASA の地球観測衛星からの信号を受信している直径 10m パラボラアンテナの管理センターに招かれました。プロジェクトでは、地域の環境を夜の暗さから評価することが試みられており、衛星からの信号を解析し、夜間の衛星画像を得て、人工光の放出の監視と光害 (ひかりがい) の評価が行われています。また、このプロジェクトでは、より詳細な情報を得るために、大学独自の小型衛星を開発・運用しようとしており、成果が期待されます。

私はこれら地域の方とも会って、星空についての感想を聞きました。星空の美しさは当たり前になっていて、その価値に気づいていないことに驚きました。私のように人生の大半を東京の賑やかな地域で過ごした者にとっては、福井で経験することのできる暗闇と星の世界は極めて魅力的で、引きつけられます。星空に対する地域の人々の認識を高めることができれば、地域にイノベーションを起こす切っ掛けになるでしょう。「ふくい PHOENIX プロジェクト」では、この思いに基づいて、科学技術を地域の特徴と結びつけることで新しい価値を創ろうとしています。

そして多くの企業がこのプロジェクトに関心を示しています。福井には地場産業として繊維産業があり、繊維に関する豊富な知識と技術が集積されています。これらを活用して衛星部材が製造されていますし、小型衛星の開発に関して福井工業大学と連携している県内企業もあります。

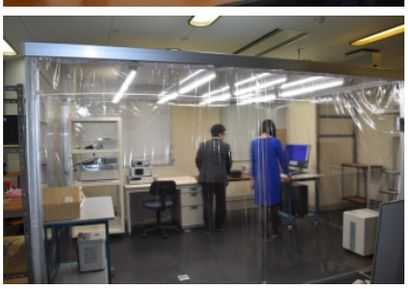
ではなぜこのような地域や「ふくい PHOENIX プロジェクト」が英国と関係するのでしょうか？　私は、英国の企業がこのプロジェクトにと連携することによって、多くの可能性が生まれると思っています。例えば、(1) 英国のベンチャー企業や投資家にとっての新しいビジネスの機会、(2) 光害抑制のために LED の街路灯設置を推進するキャンペーンの裏付けの獲得、(3) 宇宙に関する知識と技術を学ぶことができ、宇宙産業に就職する若者を増やすための短期留学先の確保です。

日本と英国がより密接につながることは、これまでよりも多くの人が星空体験のために英国の景勝地に行くことをも意味しています。星空には素晴らしい可能性があります。

【取材の経緯】

文部科学省平成 28 年度採択の私立大学研究ブランディング事業「宇宙」事業推進のために地域と協働する『ふくい PHOENIX プロジェクト』の一環である観光文化研究「福井の星空の価値を高める事業」について、英国外務省広報誌 “People & Places” の巻頭で特集されることとなり、駐日英国大使館より平成 29 年 4 月 17 日（月）～ 19 日（水）の日程で取材を受けました。

4 月 17 日（月）



『ふくい PHOENIX プロジェクト』の外部有識者でもある、駐日英国大使館科学技術部エネルギー＆先端技術担当の大野真美子氏が来学され、森島学長、本プロジェクト関係者がインタビュー、取材を受けました。

大野氏

より「英国では、環境問題の観点から星空を守る保護活動が積極的に進められており、福井工業大学の『ふくい PHOENIX プロジェクト』と理念が一致している。」との取材に於ける説明を受けました。

また、英国の星空保護活動の紹介、宇宙関連産業の技術革新や星空観光など、地域創生に繋げているとのお話も頂けました。

インタビュー後は、衛星データ利用研究紹介、衛星開発ルーム見学、本学あわらキャンパスに設置しています 10m パラボラアンテナの見学、本プロジェクトに係る施設・設備等への取材を受けました。

4 月 18 日（火）

福井市自然史博物館（福井市）、ファームハウス・コムニタ（池田町）、福井県自然保護センター（大野市）へ出向き、『ふくい PHOENIX プロジェクト』との関わり方を大野 真美子氏に説明をしました。

また、英国ではどのようにして地域創生が行われているか、本プロジェクトを通じて英国とどのようにして、交流ができるかなどのお話を頂きました。

4 月 19 日（水）

本学にて関係各所への取材から見えてきた『ふくい PHOENIX プロジェクト』の役割や、今後の事業展開等の説明を行いました。

大野 真美子氏は、「初日、森島学長が言われていた地域に根差し、未来を先導する大学を目指すとともに、『ふくい PHOENIX プロジェクト』の成果も地域創生に繋げていきたいという想いが関係各所への取材で分かった。今後、星空保護活動を通じて、英国と福井が交流を持てるよう協力していきたい。」と述べられました。